

令和7年度（第64回）農林水産祭 「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」 (スマート農業技術とともに切り拓く地域の持続可能な農業)

農林水産祭は、優秀農林水産業者を選び、その業績を顕彰し、業績の内容について広く普及を図ることを大きな目的の一つとしています。

このため、農林水産祭事業の一環として、天皇杯等を受賞された優秀農林水産業者の業績に係るシンポジウムを実施しています。皆様のご参加をお待ちしています。(Web配信を予定。)

開催日時	令和8年3月11日（水）13時30分～16時00分 13時00受付開始
場所	山形国際ホテル 3階 富士の間（東） 山形県山形市香澄町3-4-5
参加費	無料（オンライン参加の場合、通信料は参加者負担になります。）
業績発表者	令和7年度農産・蚕糸部門天皇杯受賞 株式会社おしの農場 代表取締役 押野和幸氏
コーディネーター 及び選賞審査報告	農林水産祭中央審査委員会農産・蚕糸分科会主査 中谷誠氏 (農業・食品産業技術総合研究機構副理事長)
コメンテーター	農林水産祭中央審査委員会経営分科会主査 宮武恭一氏 (農業・食品産業技術総合研究機構農業経営戦略部長)
	農林水産祭中央審査委員会経営分科会専門委員 中尾克代氏 (株式会社DX経営研究所代表取締役)
	山形県農林水産部県産米戦略推進課課長補佐 矢野真二氏
主催	農林水産省 公益財団法人 日本農林漁業振興会
協力	山形県

【参加申込方法】(公財)日本農林漁業振興会ホームページから申込書式をダウンロードしてお申し込みください。定員(70名)になり次第、締め切らせていただきます。

(お申し込みは、メール又はFAXで下記申込先あてにお願いします。また、メールで送付される場合は、件名を「3月11日（山形市）シンポジウム参加申し込みについて」としてください。)

申し込みの受付登録が済んだ方には、別途連絡致します。

また、オンラインでの参加を希望される方は、別紙「オンライン参加のお申込み」をご覧の上、お申し込みください。

【申込先】(公財)日本農林漁業振興会事業部あて
E-mail n_shinkoukai96s@affskk.jp
FAX 03-6441-0792

【問い合わせ先】(公財)日本農林漁業振興会事業部

TEL: 03-6441-0791

「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」

(スマート農業技術とともに切り拓く地域の持続可能な農業)

【 次 第 】

13:30~16:00 (予定)

(敬称略)

- 1 開 会 (13:30)
公益財団法人 日本農林漁業振興会 常務理事 小栗 邦夫
- 2 挨 捶
農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課
技術政策情報分析官 島津 久樹
山形県農林水産部長 高橋 和博
- 3 選賞審査報告 農林水産祭中央審査委員会農産・蚕糸分科会主査
(農業・食品産業技術総合研究機構副理事長) 中谷 誠
- 4 業績発表 令和7年度農産・蚕糸部門天皇杯受賞
株式会社おしの農場 代表取締役 押野 和幸
- 休 憩 (14:30~14:40)
- 5 パネルディスカッション
・コーディネーター (3に同じ) 中谷 誠
・業績発表者 (4に同じ) 押野 和幸
・コメンテーター
農林水産祭中央審査委員会経営分科会主査 宮武 恭一
(農業・食品産業技術総合研究機構農業経営戦略部長)
農林水産祭中央審査委員会経営分科会専門委員 中尾 克代
(株式会社DX経営研究所代表取締役)
山形県農林水産部県産米戦略推進課課長補佐 矢野 真二
- 6 閉 会 (16:00)

令和7 年度(第6 4 回) 農林水産祭
優秀農林水産業者に係るシンポジウム
(スマート 農業技術とともに切り拓く 地域の持続可能な農業)

令和8年3月11日(水) 山形市 開催

参 加 申 込 書
(オンライン参加についての申込は別紙)

申 込 月 日 月 日 受付No.
(期限:3月10日(火) 12:00) (※本会記入欄)

下記のとおり、会場での参加を申し込みます。

受付確認のため、確実に連絡できる連絡先(E-mail・FAX・電話番号の何れか)を記入してください。

ふりがな(必須)	
氏 名(必須)	
所 属 先(役職)	
E - M A I L	
F A X 番 号	
電 話 番 号	

上記の申込者を代表にして複数の方が申し込まれる場合は、代表者以外の方は、氏名等を下欄に記載してください。

役職等	氏 名

(別紙)

オンライン参加のお申込み

「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」（スマート農業技術とともに切り拓く地域の持続可能な農業）につきましては、会場での参加のほかオンラインでの配信を予定しております。オンラインでの参加（配信）を希望される場合は、下記のとおりお申し込み下さい。

記

方 法：Zoom（ウェビナー）での配信を予定しております。

なお、ご発言やチャットによるご質問はできません。

申込先：下記のメールアドレスあてに必要事項をご記入の上、メールを送信して下さい。

(電子メールの送信先)

E-mail : n_shinkoukai96s@affskk.jp

(公財) 日本農林漁業振興会 事業部あて

※メールの件名を

「オンライン参加申込（3月11日（山形市）シンポジウム）」として下さい。

(記入事項)

① 3月11日（水） 山形市開催

②所 属：

（所属機関がない場合には、職業等を記載して下さい。）

③氏 名：

④連絡先電子メールアドレス：

申込期限：3月10日（火） 12:00

ただし、定員（400名）になり次第締め切ります。

URLのお知らせ：3月10日（火）までに電子メールによりURLをお知らせします。

令和7年度（第64回）農林水産祭 「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」

【山形市会場】

◆ 山形国際ホテル 3階 富士の間（東）

山形県山形市香澄町3-4-5 (TEL: 023-633-1313)



● 山形駅 東口より徒歩 6分

駅前大通り直進、山交バスターミナル南側（隣接）

● 車でお越しの方は提携駐車場をご利用ください。

※ ホテル専用駐車場は、宿泊者・レストラン利用者専用となります。

① パーキング JA 山形市

② タイムズポート山形駅東口

③ 山交ビル第一駐車場

※ 提携駐車場により3~4時間無料検印をいたしますので、駐車券をフロントへお持ちください。

令和7年度天皇杯受賞者受賞理由概要
農産・蚕糸部門

スマート農業技術とともに切り拓く地域の持続可能な農業

○氏名又は名称 株式会社 おしの農場（代表 押野 和幸）

○所 在 地 山形県天童市

○出 品 財 経営（大豆）

○受賞理由

・地域の概要

天童市は、山形県東部に位置し、内陸性気候の特色を持つ。農業産出額の約8割は果樹で、水稻は約1割を占めている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

平成30年に「株式会社おしの農場」を設立し、その後も、耕作放棄地を無くしたいという思いから借り受けた農地の丁寧な管理を行ってきた。その結果、令和7年時点では経営面積は130haに達し、大豆（25ha）と水稻（105ha）を生産している。水稻では乾田直播栽培を拡大、令和元年に生産を開始した大豆では、栽培面積を年々拡大しながら高収量・高品質を維持している。経営面積の拡大と将来の経営継承を見据え、スマート農業技術を積極的に導入している。

・受賞者の特色

（1）先駆的なスマート農業技術の導入

「ほ場生産管理システム」や「栽培管理支援システム」を導入し、作業者や農作物、ほ場状況をデータで見える化して管理。本システムを用いた取組は、スマート農業技術活用促進法に基づく「生産方式革新実施計画」の全国第1号認定となった。また、「ドローン」やトラクタの「自動操舵システム」を導入し、経験が少ない社員でも作業しやすい環境をつくるとともに、作業省力化を図っている。

（2）女性の活躍

代表の長女と次女が同社に就職し、大豆や水稻の各作業だけでなく、事務経理やSNSでの発信など広報活動でも活躍している。スマート農業技術の導入によって女性でも作業しやすい環境となっている。

（3）農地の集積

集落農地の約3分の1を集積し、その大半は自社から2km圏内にあって効率的な作業を可能にしている。農地の貸主を第一の顧客と考えて管理していることから、地域からの信頼は厚く、農地の委託希望者は年々増えている。

（4）実需者が求める「里のほほえみ」の栽培

実需者から固定需要のある大豆品種「里のほほえみ」を栽培し、令和4～6年産の平均単収は313kg/10aと県平均の2倍以上、令和6年産の1等比率は99.5%となるなど、高収量かつ高品質な生産を実現している。

・普及性と今後の発展方向

今後も離農者からの農地引き受けにより経営面積の拡大が見込まれることから、スマート農業技術をさらに活用し、省力的に作業できる大豆の栽培面積を拡大していく。また、経営や栽培管理については次世代への事業承継を進めるとともに、コスト削減や収量の安定化、社員の技術平準化、人材育成にも力を入れていく。